

女性セミナー

移動学習「浜通見学」

10月26日に『震災遺構・浪江小学校』見学を女性セミナー会員26人でバスでの移動学習で行いました。



2011年3月11日、未だかつて経験したことのない大地震・大津波とその後の原発事故に見舞われ、甚大な被害を受けた小学校です。太平洋の波音がすぐ近くに聞こえるおおきな二階建ての校舎を「こんな状態で、よく全員無事避難できたなあ」と思いながら、抜け落ちた天井と窓ガラスなど全く無い廊下を回りました。その後、相馬岩の子の清風荘で会食。久しぶりの移動学習で、参加者全員が笑顔でした。

「体と脳のエクササイズ」を学習

11月22日に5人の出席で「体と脳のエクササイズ」を学習しました。『デュアルタスク体操』が脳に効くということで、市高齢福祉課の方が講師で『ながら体操』をご指導いただきました。1から30まで数え、5の倍数で椅子から立ち上がる。次は3の倍数で、次は3と5の倍数で、となると難しい上、さらに右手はパー、左はグー、となると『ながら』も最高潮！かなり脳は使ったようです。



いきいきカレッジ

パークゴルフで野外学習

11月9日、栗野のパークゴルフ場において野外学習会として、16人の参加でパークゴルフを大会形式で行いました。今回は4人1グループで4チームを編成し、団体個人と競技し、順位を付けました。チームの1位はAチームで、個人成績は幕田国昭さんで58点の高得点でした。コースを間違って進んだり、ルールを理解する必要を感じさせられたこともあり



ましたが、いきいきカレッジならではの楽しい学習会を行う事ができました。



室内でのゲーム体験

12月16日、大研修室で、室内でできる2種類の「ニチレクボール・ラダーゲッターゲーム」を10人参加で体験しました。講師は梁川レククラブ会長の中木雅彦さん。ニチレクボールはペタンクに似たゲーム、ラダーゲッターゲームは紐の両端についてボールを梯状のポールに引っ掛けるゲームで、初めてのゲームに慣れるまで大変でしたが、慣れると床にバウンドさせたり高得点の連発で、会場は大盛り上がりでした。

ボッチャを楽しむ!!

12月27日、女性セミナーで楽しくレクリエーション「ボッチャ体験」を行いました。年末もあって参加者が少なく、後半は児童クラブの子どもたちも参加して楽しく過ごしました。当初依頼していた講師が都合で来られなくなり、急遽、中木雅彦さんをお願いし、ゲームの仕方やポイントの取り方など聞きながら、初めてのゲームを楽しみました。メンバー曰く「皮製お手玉だね」



【ご遺志】

(令和4年1月〜12月)

- 橘 光弘様 (故行美様) 東前
- 大橋 重男様 (故トメ様) 原
- 小林紀代子様 (故三郎様) 道林
- 寺島善光様 (故ユキエ様) 上原
- 佐藤 和久様 (故 潤様) 大正寺
- 橘 智也様 (故 茂様) 東前
- 小賀坂浩二様 (故トミ様) 東木田

お寄せいただきましたご遺志は地域福祉向上のため大切に使用させていただきます。

ありがとうございます。 堰本地区社会福祉協議会

融雪剤のお知らせ

冬は降雪が多く、路面凍結が発生し、危険です。市から融雪剤を預かっていきます。各町内会で凍結発生の場所がある時は、交流館にご連絡ください。受領簿に記載いただき、お渡しします。

編集後記

新年を迎えても、コロナウィルス感染拡大中です。ウィズコロナ、行動制限がないと言っても、まだまだ日々の注意が必要ですね。一人ひとりの心がけで、自分も家族も地域も守りましょう。

昨年の4月に法改正があり、18歳から大人の仲間入りする様になりました。伊達市では「成人式」を「成人のつどい」と改め、20歳の方々が対象となり、今年1月8日に開催されました。地域に若い年代が根付く様な地域づくりが大切になっていきます。

新春号の表紙は、今年度18歳になった桃井亜里紗さん、万里亜さんと、弟の剣大さんの仲良し3姉弟。(原町内会)

人と地域を育む愛宕の里 せきもと

令和5年新春号 (第15号)

里づくりせきもと



発行：せきもとさとづくり推進協議会

●新年のご挨拶



せきもとさととづくり
推進協議会
会長 澁谷基昌

あけましておめでとうございます。一家お揃いで、新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。旧年中は、特段のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

三年続きの新型コロナウイルス感染症拡大のため、容易ならぬ年でしたが、明るいニュースもありました。サッカーW杯に日本が出場し、世界中から絶賛の拍手でした。それは、選手の活躍とサポーターのマナーです。試合終了後、スタンドを清掃、選手は控室の整頓、「ありがとう」のメッセージを残し帰国。このような行動が「1ミリの奇跡」を生み「ブラボー!!」また、生涯学習部会は、全て計画通りに進められたことは、素晴らしいです。三年振りに実施された研修旅行も、多くの参加者があり、有意義でした。

今年こそ、コロナが収束し、以前の活動に戻す事です。これには、学校、各種団体、役員が連携を密にし一丸となり目標に向かって一路邁進してまいります。卯年に当たり、コロナで居眠りしていた兎が目覚めて、ピョンと大きく

飛躍することを期待します。皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

新・民生児童委員紹介

(敬称は省略します)

令和4年12月1日付けで信任された民生児童委員の方々を紹介いたします。堰本地区内を担当する民生児童委員については、当さとづくり推進協議会で推薦をいたしました。地区の身近な困りごと相談員です。皆様のご協力をお願いします。

- ・ 橘内 武 (担当地区名) (中沢・鹿ノ子・上原)
 - ・ 小賀坂義行 (東木田・間野・大門・中ノ内)
 - ・ 原 みき子 (東前・大正寺・藤橋)
 - ・ 内山 清一 (陽光台)
 - ・ 佐々木美代子 (屋敷通・町通・鈴竹・荒野)
 - ・ 小賀坂秀明 (細谷地区)
- 今回3人の方が退任されました。永年のご活躍、ありがとうございます。
- ・ 小賀坂初子 (中ノ内)
 - ・ 橘 敏昭 (東前)
 - ・ 山本 孝浩 (入ノ内)

◎祝 高齢者叙勲◎

元梁川町議 橘内栄さん(中沢町内会)が、旭日単光章を受けられました。町議を19年3ヶ月、5期に亘り地区発展のためご尽力いただきました。

各種団体受賞者名 (敬称略)

令和4年中に堰本地区内で受賞された方々です。それぞれの立場で任務に挑んでいます。長年のご活躍に感謝申し上げます。

- 消防団 日本消防協会勤続章 橘内 正一
- 県永年勤続章 菅野 典共
- 菅野 光範
- 志賀 敏幸
- 橘 智也
- 菅野 正一
- 菅野 智也
- 菅野 直幸
- 菅野 正一
- 菅野 吉
- 菅野 吉

看護学生と座談会開催

12月23日、交流館小会議室において、郡山市のポラリス保健看護学院の学生・奥野陽香さんと座談会を行いました。



奥野さんは授業の中で「地域活動の現状と役割等について」を研究テーマに取り組み、当会の活動状況等について、ざっくばらんに意見交換を行いました。

その中で、市との関係、概要、会の沿革、活動内容など小賀坂事務局長から説明を行いました。その後、各部長が行事活動を話し、奥野さんとの質疑応答を行いました。



奥野さんの将来の夢は、看護師になることですが、保健師としても行政に携わりたいと考えておられ、当会の活動が少しでも役だてれば幸いです。

地域の活動(団体紹介)

地域の福祉を担って



堰本地区
社会福祉
協議会会長
橘内 武
(中沢町内会)

日頃は、地区社会福祉協議会に對しまして、ご理解、ご協力をいただいております事、心から厚くお礼申し上げます。

堰本地区社会福祉協議会福祉委員は、町内会長全員(19人)、女性福祉委員として大関・新田・細谷から各2人と陽光台1人の計7人、民生委員6人で構成しています。そのうち役員は、町内会長のうち代表1人、女性福祉委員から3人と民生委員は全員、計10人で、会長、副会長、庶務、会計を互選しています。

活動を申し上げますと、ほとんどが伊達市社協から提示された福祉関係内容の活動を行っております。対象となる方は、75歳以上の一人暮らし、75歳以上の二人暮らし(夫妻)の方となります。現在、堰本地区には、一人暮らしの方は51人、二人暮らしの方は28組、56人がおられます。事業は大きく分けると4つになります。

地域の方々紹介

女性委員会の

一年を振り返って



さととづくり女性委員会
委員長
末永 綾子
(鹿ノ子町内会)

せきもとさとづくり女性委員会の活動として、花いっぱい運動を春秋の2回行いました。

手入れた後の綺麗な花壇は、行き交う人々との目を惹き寄せ、そして咲いた花は自然に人の心を元気にしてくれる不思議な力を秘めていると私は思っています。活動にご協力いただいた役員、委員の皆様ありがとうございました。

今年度の活動は終わりましたが、女性委員会の活動を花いっぱい運動以外の活動も考えていまして、しかしコロナ禍のため、各町内会の事業も中止になり、近所とのコミュニケーションの場も著しく少なくなっています。まして年々子どもが減少しお年寄りが増えてきている状況で、地域の皆様と一緒にさとづくりの中で女性委員会の活動はどんな事が出来るのか?を考えてきた1年でもありました。



私としては、コロナ禍で多くの方々との接する機会もなく、主に会議で役員、委員の方々との接しているだけで、他の形に現れた活動があれば良いと思いましたが、例年のように花いっぱい運動が主でした。

私は音楽が好きでクラリネットや、和太鼓、篠笛の演奏やカラオケなども楽しんできました。それが看護師として勤務した施設での仕事中、リクエストで参加、一緒に歌ったり、太鼓に合わせて手拍子したりする利用者の方々の喜びの表情は忘れられません。

堰本の方々にも喜んでいただくには何をどうするか、女性委員会活動も暗中模索の状態です。一人ひとり個性を生かし、楽しく和やかにみんな話合ひ、これからの「せきもとさとづくり女性委員会」に役立たせたいと思います。